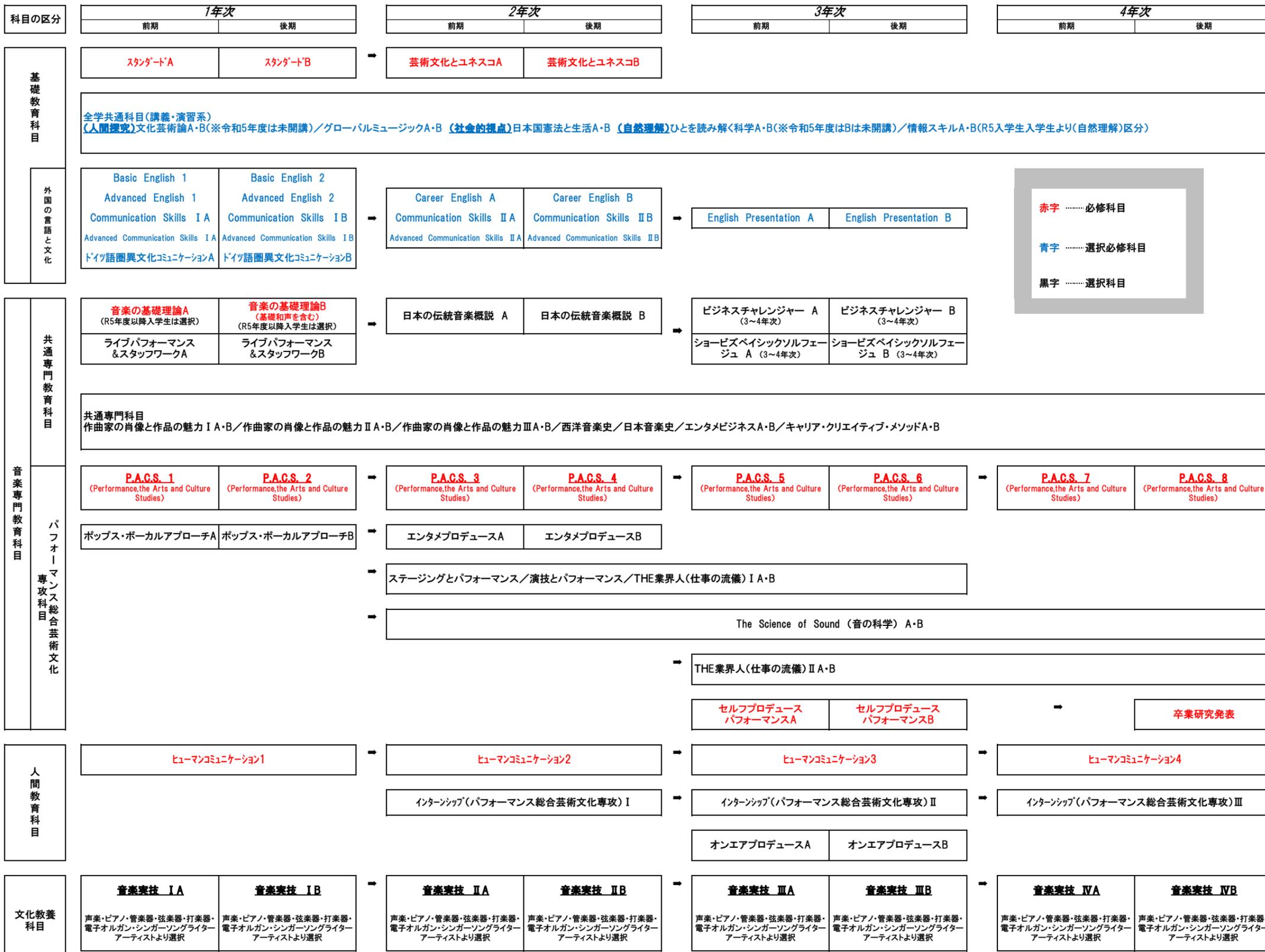


令和5年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【パフォーマンス総合芸術文化専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 ..... 必修科目  
青字 ..... 選択必修科目  
黒字 ..... 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能  
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。  
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。  
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。  
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力  
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。  
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性  
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。  
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を旨とする」

知識・技能  
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力  
 エンターテインメントに関する専門的知識・技能を修得し、自らの発想及び思考を適切に表現することができる。  
 国際的な視野に立った広範な文化の理解  
 ・エンターテインメントを含む芸術作品の歴史や社会背景を理解し、さまざまな視座をもつことができる。  
 ・エンターテインメントを取り巻く時代の変化に的確に対応し、多様なイベント等を企画、立案することができる。  
 ・自身のパフォーマンス、スタッフワーク及びコミュニケーションのあり方を卒業作品発表において表現することができる。

思考力・判断力・表現力  
 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力  
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力  
 自己発信のプレゼンテーション能力

ディプロマポリシー  
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢  
 国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲  
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)  
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

意欲・関心・志向性  
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

令和5年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【教職実践専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

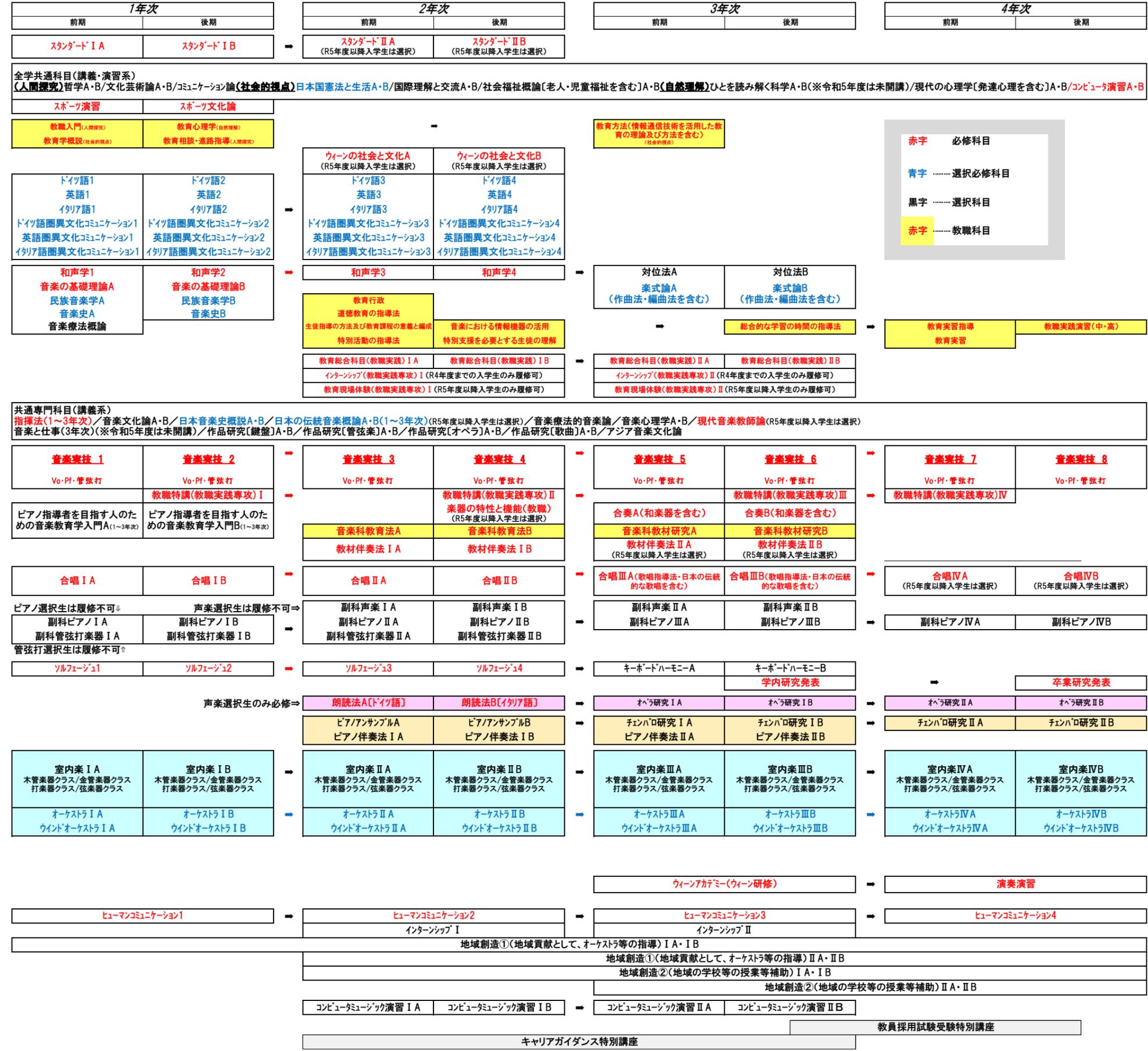
**カリキュラムポリシー**

**知識・技能**  
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。  
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。  
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。  
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

**思考力・判断力・表現力**  
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。  
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

**意欲・関心・志向性**  
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。  
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

科目の区分	基礎教育科目	共通専門教育科目	音楽専門教育科目	人間教育科目	文化教養科目	課外講座
	外国の言語と文化		教職実践専攻			
		音楽	ピアノ			
		管弦打				



**赤字** 必修科目  
**青字** 選択必修科目  
**黒字** 選択科目  
**赤字** 教職科目

**知識・技能**  
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力  
 専攻分野を中心とした知識と技能  
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

**思考力・判断力・表現力**  
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力  
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力  
 自己発信のプレゼンテーション能力

**意欲・関心・志向性**  
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢  
 国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲  
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)  
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)  
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワークリーダーシップ)

**ディプロマポリシー**  
 建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

・学修目標が明確でわかりやすい教員指導を行うことができる。  
 ・他職種にも視野を広げ、主体性を引き出すための創意工夫に富んだ学習指導案や教材を作成することができる。  
 ・ICT機器や情報通信技術を活用して授業や教育活動を行なうことができる。

令和5年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【Konzertfach演奏専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	スタンダード I A	スタンダード I B	スタンダード II A	スタンダード II B				
	全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B(※令和5年度は未開講)/現代の心理学(発達心理を含む)A・B/コンピュータ演習A・B スポーツ演習      スポーツ文化論							
外国の言語と文化	ドイツ語(konzertfach)1 英語1 イタリア語1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語(konzertfach)2 英語2 イタリア語2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語(konzertfach)3 【異文化コミュニケーションを含む】 英語3 イタリア語3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語(konzertfach)4 【異文化コミュニケーションを含む】 英語4 イタリア語4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4	ドイツ語(konzertfach)5	ドイツ語(konzertfach)6	ドイツ語(konzertfach)7	ドイツ語(konzertfach)8
	和声学(konzertfach)1 音楽の基礎理論(konzertfach)A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学(konzertfach)2 音楽の基礎理論(konzertfach)B 民族音楽学B 音楽史B	和声学(konzertfach)3 ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修*	和声学(konzertfach)4 ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修*	対位法(konzertfach)A 楽式論A (作曲法・編曲法を含む) ポピュラーミュージックA (作曲法・編曲法を含む)	対位法(konzertfach)B 楽式論B (作曲法・編曲法を含む) ポピュラーミュージックB (作曲法・編曲法を含む)	赤字 必修科目 青字 選択必修科目 黒字 選択科目	
共通専門教育科目	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) I A	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) I B	作品研究(様式学)(Konzertfach) I A	作品研究(様式学)(Konzertfach) I B	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) II A	作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) II B	作品研究(様式学)(Konzertfach) II A	作品研究(様式学)(Konzertfach) II B
	共通専門科目(講義系):指揮法/音楽文化論A・B/日本音楽史概説A・B/音楽音響メディア論A・B/日本の伝統音楽概論A・B/音楽療法的音楽論/音楽心理学A・B/アジア音楽文化論/音楽と仕事(※令和5年度は未開講)							
音楽専門教育科目	konzerthochschule Konzertfach専攻1 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)1 (ウイン研修)	konzerthochschule Konzertfach専攻2 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)2 (ウイン研修)	konzerthochschule Konzertfach専攻3 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)3 (ウイン研修)	konzerthochschule Konzertfach専攻4 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)4 (ウイン研修)	konzerthochschule Konzertfach専攻5 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)5 (ウイン研修)	konzerthochschule Konzertfach専攻6 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)6 (ウイン研修)	konzerthochschule Konzertfach専攻7 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)7 (ウイン研修)	konzerthochschule Konzertfach専攻8 Vo・Pf・管弦打 ウイン・アガミア・プロフェッショナル (Konzertfach)8 (ウイン研修)
	合唱 I A	合唱 I B	合唱 II A	合唱 II B	合唱 III A(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)	合唱 III B(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)	合唱 IV A	合唱 IV B
声楽	ピアノ専門生以外は2年次生より履修可		教材伴奏法 I A	教材伴奏法 I B	教材伴奏法 II A	教材伴奏法 II B		
	ソルフェージュ1 ソルフェージュ1(留学生クラス)	ソルフェージュ2 ソルフェージュ2(留学生クラス)	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	キーボードハーモニーA	キーボードハーモニーB 校内演奏		卒業演奏
ピアノ	副科ピアノ I A	副科ピアノ I B	副科声楽 I A 副科ピアノ II A	副科声楽 I B 副科ピアノ II B	副科声楽 II A	副科声楽 II B		
	朗読法(イタリア語)(Konzertfach) I A 声作り(ソプラノ・メゾ・ソプラノ) (Konzertfach) I A(声のみ)	朗読法(イタリア語)(Konzertfach) I B 声作り(ソプラノ・メゾ・ソプラノ) (Konzertfach) I B(声のみ)	朗読法(ドイツ語)(Konzertfach) II A 声作り(ソプラノ・メゾ・ソプラノ) (Konzertfach) II A(声のみ)	朗読法(ドイツ語)(Konzertfach) II B 声作り(ソプラノ・メゾ・ソプラノ) (Konzertfach) II B(声のみ)	オペラ研究 I A	オペラ研究 I B	オペラ研究 II A	オペラ研究 II B
管弦打	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B	ピアノ/アンサンブルA ピアノ伴奏法 I A	ピアノ/アンサンブルB ピアノ伴奏法 I B	チェンバロ研究 I A ピアノ伴奏法 II A	チェンバロ研究 I B ピアノ伴奏法 II B	チェンバロ研究 II A	チェンバロ研究 II B
	室内楽 I A 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽 I B 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽 II A 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽 II B 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽 III A 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽 III B 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽 IV A 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽 IV B 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
留学生科目	オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B	オーケストラ III A ウインドオーケストラ III A	オーケストラ III B ウインドオーケストラ III B	オーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV A	オーケストラ IV B ウインドオーケストラ IV B
	日本事情 I A 日本語1	日本事情 I B 日本語2	日本事情 II A 日本語3	日本事情 II B 日本語4	日本事情 III A 日本語5	日本事情 III B 日本語6	日本事情 IV A 日本語7	日本事情 IV B 日本語8
人間教育科目	ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2 インターシップ I		ヒューマンコミュニケーション3 インターシップ II		ヒューマンコミュニケーション4	
	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) I A・I B 地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) II A・II B 地域創造②(地域の学校等の授業等補助) I A・I B 地域創造②(地域の学校等の授業等補助) II A・II B							
文化教養科目	コンピュターミュージック演習 I A		コンピュターミュージック演習 I B		コンピュターミュージック演習 II A		コンピュターミュージック演習 II B	
	演奏演習 多様な価値を認め、主体的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)							
教職課程	教職入門 教育学概説		教育心理学 教育相談・進路指導		教育方法(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 音楽科教材研究A		総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	
	教育実習指導 教育実習		教職実践演習(中・高)		教員採用試験受験特別講座			
課外講座	キャリアガイダンス特別講座							

カリキュラムポリシー

知識・技能  
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。  
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。  
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。  
 高い芸術性を修得するために、専攻実技は個人レッスンを実施する。  
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

思考力・判断力・表現力  
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性  
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。  
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と創造性につなげていく能力や姿勢を育成する。

基礎教育科目  
 外国の言語と文化  
 共通専門教育科目  
 音楽専門教育科目  
 声楽  
 ピアノ  
 管弦打  
 留学生科目  
 人間教育科目  
 文化教養科目  
 教職課程  
 課外講座

知識・技能  
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力  
 専門分野を中心とした知識と技能  
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力  
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力  
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力  
 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性  
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢  
 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲  
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)  
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)  
 多様な価値を認め、主体的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

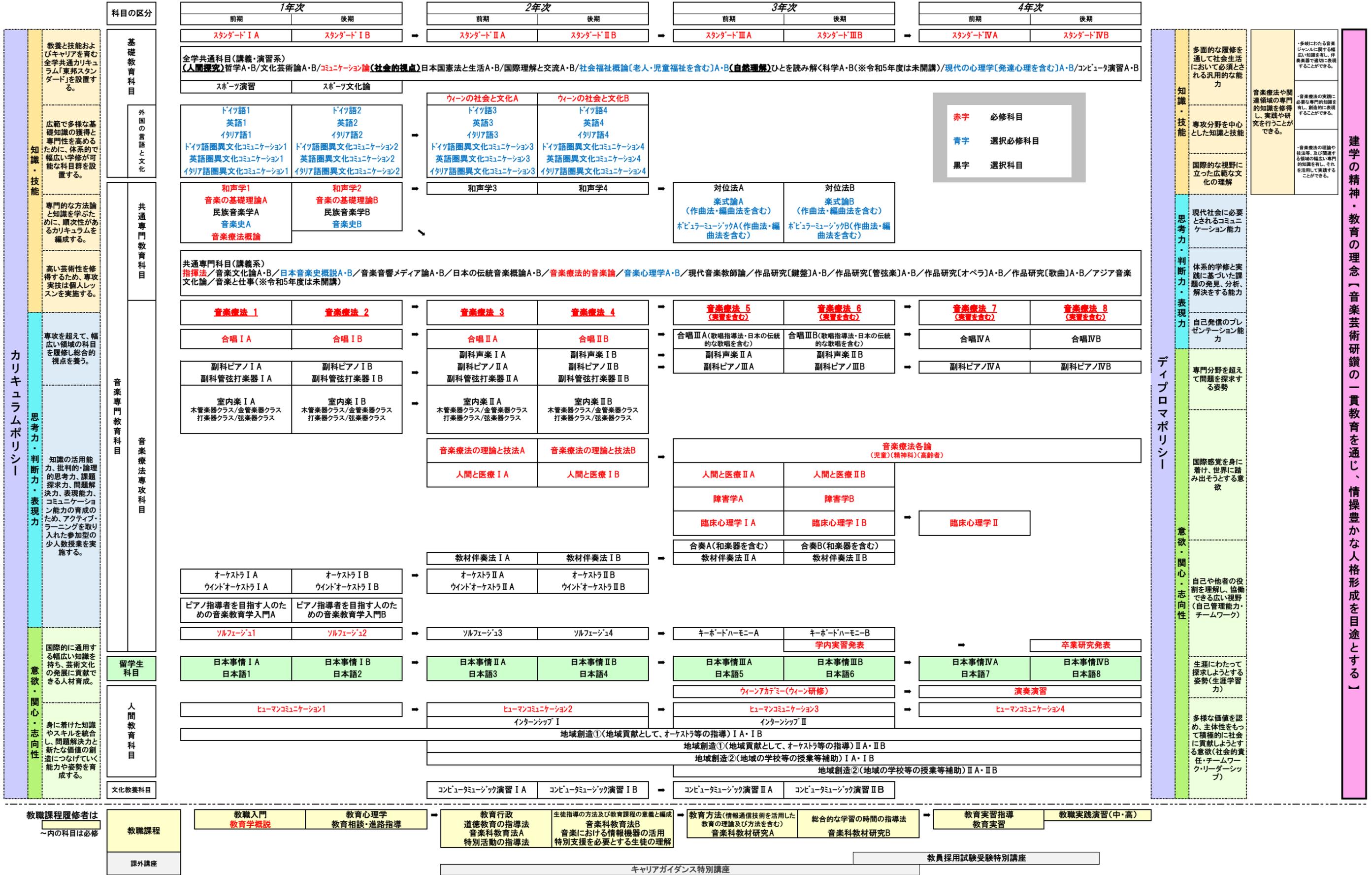
【ピアノ専門】  
 知識・技能  
 ・鍵盤音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。  
 ・鍵盤音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。  
 ・専門領域以外にも視野を広げ、幅広いレパートリーを持ち、高い音楽性と豊かな表現力を持って演奏することができる。

【声楽専門】  
 知識・技能  
 ・声楽の高度な技術を身につけることができる。  
 ・声楽の多様な形態における言語や知識を身につけ、歴史的背景をふまえた演奏ができる。  
 ・専門領域以外にも視野を広げ、幅広いレパートリーを持ち、高い音楽性と豊かな表現力を持って演奏することができる。

【管弦打楽器専門】  
 知識・技能  
 ・管弦打楽器の音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。  
 ・専攻楽器に関する専門的知識や高度な演奏技術を身につけ、ソロ、オーケストラ等の実践的な演奏表現ができる。  
 ・専門以外の楽器の特性や他領域にも視野を広げ、高い音楽性と豊かな表現力を持って演奏することができる。

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする)

令和5年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【音楽療法専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目  
青字 選択必修科目  
黒字 選択科目

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情豊かな人格形成を目的とする)

知識・技能

- 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- 専攻分野を中心とした知識と技能
- 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力

- 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
- 体系的な学修と実践に基づいた課題の発見・分析・解決をする能力
- 自己発信のプレゼンテーション能力
- 専門分野を超えて問題を探求する姿勢

意欲・関心・志向性

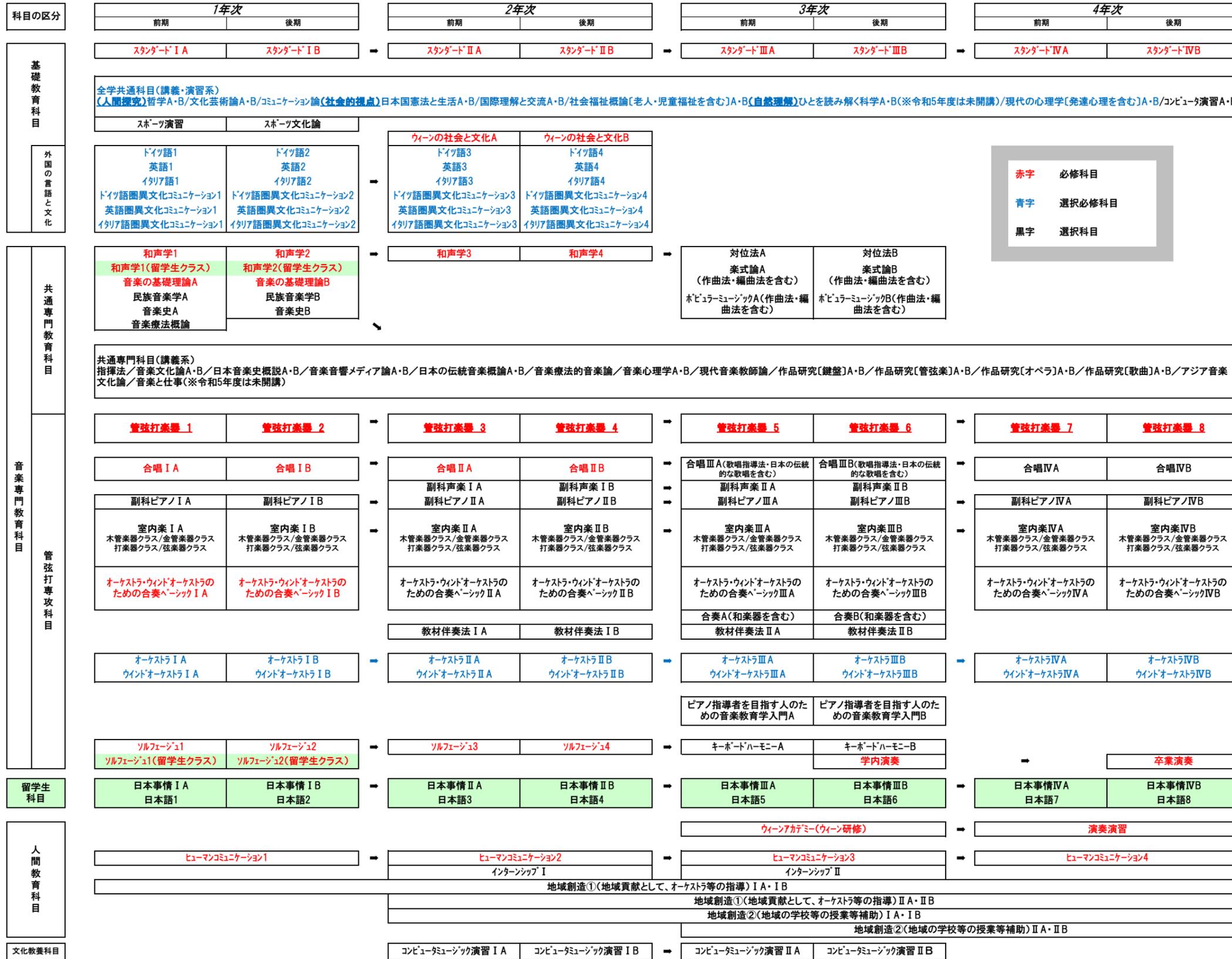
- 国際感覚を身に付け、世界に踏み出す意欲
- 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
- 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
- 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

音楽療法や関連領域の専門的知識を修得し、実践や研究を行うことができる。

音楽療法の理論や技法等、及び関連する領域の幅広い専門的知識を有し、それを活用して実践することができる。



令和5年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【管弦打専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目  
 青字 選択必修科目  
 黒字 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能  
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。  
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。  
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。  
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力  
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。  
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

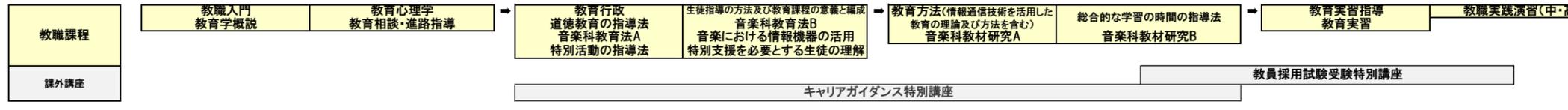
意欲・関心・志向性  
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。  
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

知識・技能  
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力  
 専門分野を中心とした知識と技能  
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力  
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力  
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力  
 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性  
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢  
 国際感覚を身に付け、世界に誇り出す意欲  
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)  
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)  
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)



# 令和5年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【声楽専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	スタンダードⅠA	スタンダードⅠB	スタンダードⅡA	スタンダードⅡB	スタンダードⅢA	スタンダードⅢB	スタンダードⅣA	スタンダードⅣB

全学共通科目(講義・演習系)  
 (人間探究)哲学A・B/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B(※令和5年度は未開講)/現代の心理学[発達心理を含む]A・B/コンピュータ演習A・B

スポーツ演習	スポーツ文化論	ウイーンの社会と文化A ドイツ語3 英語3 イタリア語3	ウイーンの社会と文化B ドイツ語4 英語4 イタリア語4
ドイツ語1 英語1 イタリア語1 ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語2 英語2 イタリア語2 ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語3 英語3 イタリア語3 ドイツ語圏異文化コミュニケーション3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語4 英語4 イタリア語4 ドイツ語圏異文化コミュニケーション4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4

和声学1 和声学1(留学生クラス) 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 和声学2(留学生クラス) 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A (作曲法・編曲法を含む) ホビータミュージックA(作曲法・編曲法を含む)	対位法B 楽式論B (作曲法・編曲法を含む) ホビータミュージックB(作曲法・編曲法を含む)
--	--	------	------	---	---

共通専門科目(講義系)  
 指揮法/音楽文化論A・B/日本音楽史概説A・B/音楽音響メディア論A・B/日本の伝統音楽概論A・B/音楽療法的音楽論/音楽心理学A・B/現代音楽教師論/作品研究[鍵盤]A・B/作品研究[管弦楽]A・B/作品研究[オペラ]A・B/作品研究[歌曲]A・B/アジア音楽文化論/音楽と仕事(※令和5年度は未開講)

声楽1	声楽2	声楽3	声楽4	声楽5	声楽6	声楽7	声楽8
合唱ⅠA 副科ピアノⅠA 副科管弦打楽器ⅠA	合唱ⅠB 副科ピアノⅠB 副科管弦打楽器ⅠB	合唱ⅡA 副科ピアノⅡA 副科管弦打楽器ⅡA	合唱ⅡB 副科ピアノⅡB 副科管弦打楽器ⅡB	合唱ⅢA(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む) 副科ピアノⅢA 副科管弦打楽器ⅢA	合唱ⅢB(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む) 副科ピアノⅢB 副科管弦打楽器ⅢB	合唱ⅣA 副科ピアノⅣA 副科管弦打楽器ⅣA	合唱ⅣB 副科ピアノⅣB 副科管弦打楽器ⅣB
室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス

朗読法A(ドイツ語) 教材伴奏法ⅠA	朗読法B(イタリア語) 教材伴奏法ⅠB	オペラ研究ⅠA 教材伴奏法ⅡA	オペラ研究ⅠB 教材伴奏法ⅡB	オペラ研究ⅡA	オペラ研究ⅡB
-----------------------	------------------------	--------------------	--------------------	---------	---------

オーケストラⅠA ウインドオーケストラⅠA	オーケストラⅠB ウインドオーケストラⅠB	オーケストラⅡA ウインドオーケストラⅡA	オーケストラⅡB ウインドオーケストラⅡB	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------

ソルフェージュ1 ソルフェージュ1(留学生クラス)	ソルフェージュ2 ソルフェージュ2(留学生クラス)	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	キーボードハーモニーA	キーボードハーモニーB	学内演奏	卒業演奏
------------------------------	------------------------------	----------	----------	-------------	-------------	------	------

日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

ヒューマンコミュニケーション1	ヒューマンコミュニケーション2 インターンシップⅠ	ヒューマンコミュニケーション3 インターンシップⅡ	ヒューマンコミュニケーション4
-----------------	------------------------------	------------------------------	-----------------

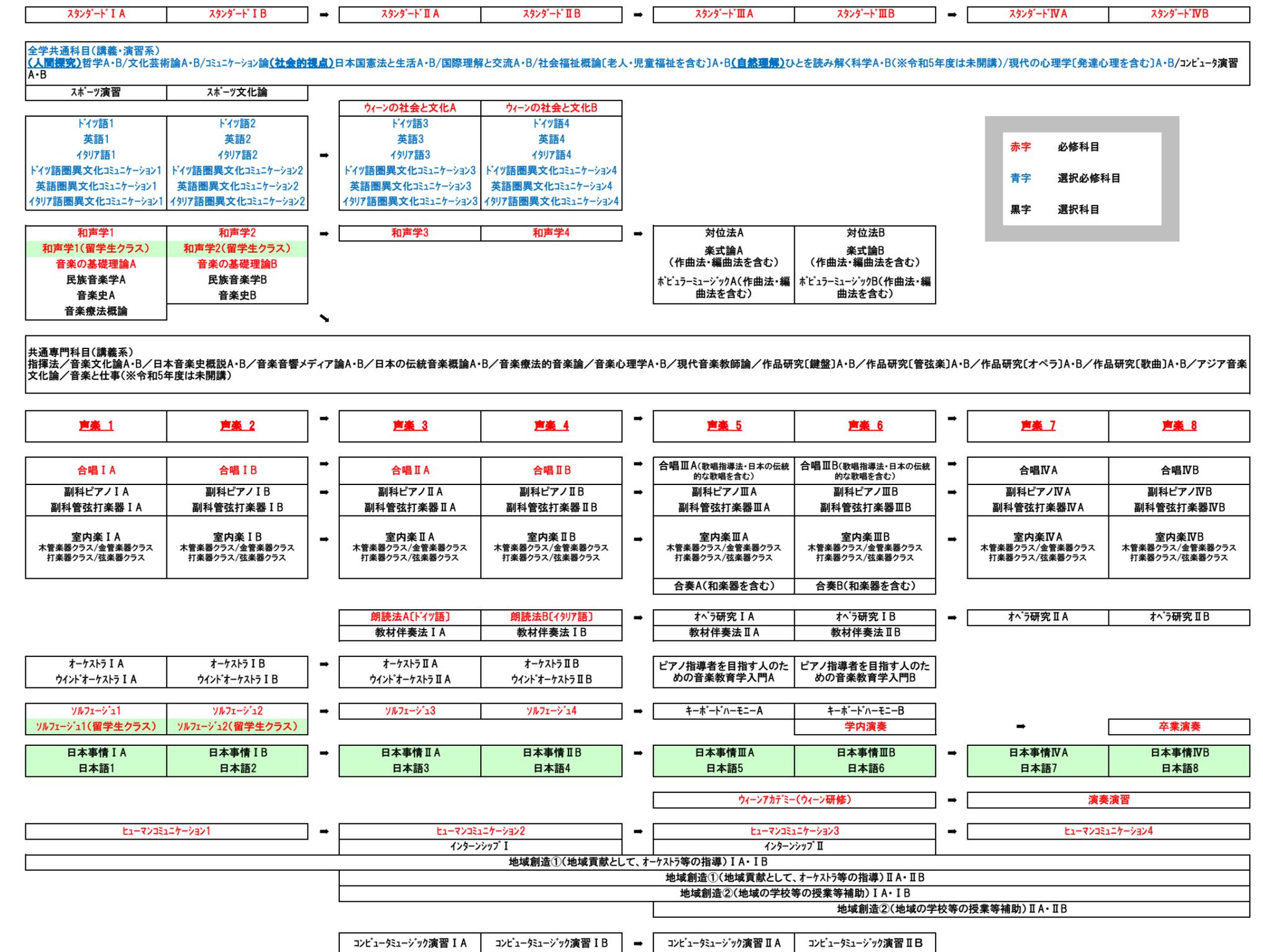
地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅠA・ⅠB  
 地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅡA・ⅡB  
 地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅠA・ⅠB  
 地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅡA・ⅡB

コンピュータミュージック演習ⅠA	コンピュータミュージック演習ⅠB	コンピュータミュージック演習ⅡA	コンピュータミュージック演習ⅡB
------------------	------------------	------------------	------------------

赤字 必修科目  
 青字 選択必修科目  
 黒字 選択科目

知識・技能  
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。  
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。  
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。  
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。  
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。  
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。  
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。  
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

基礎教育科目  
 外国の言語と文化  
 共通専門教育科目  
 音楽専門教育科目  
 声楽専攻科目  
 留学生科目  
 人間教育科目  
 文化教養科目



知識・技能  
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力  
 専攻分野を中心とした知識と技能  
 国際的な視野に立った広範な文化の理解  
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力  
 体系的な学修と実践に基づいた課題の発見・分析・解決をする能力  
 自己発信のプレゼンテーション能力  
 専門分野を超えて問題を探求する姿勢  
 国際感覚を身に着け、世界に踏み出す意欲  
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)  
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)  
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

専門分野である声楽に関する、専門的知識・技能を修得し、声楽の特色である言葉表現に必要な知識・技術を身につけて表現することができる。  
 ・声楽の多様な形態における言語や知識を身につけ、歴史的背景を踏まえた演奏ができる。  
 ・専門領域以外にも視野を拡げて演奏に活かすことができる。

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

教職課程履修者は  
 ~内の科目は必修

教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
課外講座	キャリアガイダンス特別講座	教員採用試験受験特別講座					

令和5年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【ピアノ専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	スタンダードⅠA	スタンダードⅠB	スタンダードⅡA	スタンダードⅡB	スタンダードⅢA	スタンダードⅢB	スタンダードⅣA	スタンダードⅣB	
基礎教育科目	全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B(※令和5年度は未開講)/現代の心理学[発達心理学を含む]A・B/コンピュータ演習A・B スポーツ演習      スポーツ文化論								
外国の言語と文化	ドイツ語1 英語1 イタリア語1 ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語2 英語2 イタリア語2 ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	ウィーンの社会と文化A ドイツ語3 英語3 イタリア語3 ドイツ語圏異文化コミュニケーション3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ウィーンの社会と文化B ドイツ語4 英語4 イタリア語4 ドイツ語圏異文化コミュニケーション4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4					
共通専門教育科目	和声学1 和声学1(留学生クラス) 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 和声学2(留学生クラス) 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A      対位法B 楽式論A      楽式論B (作曲法・編曲法を含む)      (作曲法・編曲法を含む) ホビュアミュージックA(作曲法・編曲法を含む)      ホビュアミュージックB(作曲法・編曲法を含む)				
音楽専門教育科目	共通専門科目(講義系) 指揮法/音楽文化論A・B/日本音楽史概説A・B/音楽音響メディア論A・B/日本の伝統音楽概論A・B/音楽療法的音楽論/音楽心理学A・B/現代音楽教師論/作品研究[鍵盤]A・B/作品研究[管弦楽]A・B/作品研究[オペラ]A・B/作品研究[歌曲]A・B/アジア音楽文化論/音楽と仕事(※令和5年度は未開講)								
ピアノ専攻科目	ピアノ1	ピアノ2	ピアノ3	ピアノ4	ピアノ5	ピアノ6	ピアノ7	ピアノ8	
	合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む) 副科声楽ⅡA	合唱ⅢB(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む) 副科声楽ⅡB	合唱ⅣA	合唱ⅣB	
	副科管弦打楽器ⅠA	副科管弦打楽器ⅠB	副科管弦打楽器ⅡA	副科管弦打楽器ⅡB	副科管弦打楽器ⅢA	副科管弦打楽器ⅢB	副科管弦打楽器ⅣA	副科管弦打楽器ⅣB	
	室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	
	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A 教材伴奏法ⅠA	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B 教材伴奏法ⅠB	ピアノアンサンブルA ピアノ伴奏法ⅡA	ピアノアンサンブルB ピアノ伴奏法ⅡB	ピアノアンサンブルA ピアノ伴奏法ⅡA	ピアノアンサンブルB ピアノ伴奏法ⅡB	ピアノアンサンブルA ピアノ伴奏法ⅡA	ピアノアンサンブルB ピアノ伴奏法ⅡB	
	オーケストラⅠA ウインドオーケストラⅠA	オーケストラⅠB ウインドオーケストラⅠB	オーケストラⅡA ウインドオーケストラⅡA	オーケストラⅡB ウインドオーケストラⅡB					
	ソルフェージュ1 ソルフェージュ1(留学生クラス)	ソルフェージュ2 ソルフェージュ2(留学生クラス)	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	キーボード・ハーモニーA	キーボード・ハーモニーB 学内演奏	卒業演奏		
	日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8	
	ヒューマンコミュニケーション1	ヒューマンコミュニケーション2 インターシップⅠ		ヒューマンコミュニケーション3 インターシップⅡ		ヒューマンコミュニケーション4			
			地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅠA・ⅠB		地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅡA・ⅡB		地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅠA・ⅠB		地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅡA・ⅡB
文化教養科目	コンピュータミュージック演習ⅠA		コンピュータミュージック演習ⅠB		コンピュータミュージック演習ⅡA		コンピュータミュージック演習ⅡB		

赤字 必修科目  
 青字 選択必修科目  
 黒字 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能  
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。  
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。  
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。  
 高い芸術性を修得するため、専攻実践は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力  
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。  
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性  
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。  
 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする)

知識・技能  
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力  
 専門分野であるピアノ演奏において、専門的知識・技能を修得し、自らの演奏スタイルを確立することができる。  
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力  
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力  
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力  
 自己発信のプレゼンテーション能力  
 専門分野を超えて問題を探究する姿勢  
 国際感覚を身に付け、世界に踏み出す意欲

意欲・関心・志向性  
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)  
 生涯にわたって探究しようとする姿勢(生涯学習力)  
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

教職課程履修者は ~内の科目は必修	教職課程	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法(情報通信技術を活用した 教育の理論及び方法を含む) 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
	課外講座	教員採用試験受験特別講座							
		キャリアガイダンス特別講座							